

## 一般社団法人つくば青年会議所 2013年度 理事長所信

飯田 修

### 【はじめに】

私たちの暮らす「つくば」は、北に関東の名峰筑波山を擁し、市街地周辺は、緑豊かな落ち着いた田園風景を醸しだしています。また、2005年に開業したつくばエクスプレスにより、新たな力が吹き込まれ、多彩な価値観・能力を持つ人々、異なった環境・資源を持つ地域が連鎖しあい、創造的なネットワーク社会を形成しつつあります。しかし、センター地区以外に目を向ければ過疎化が進み、地域間格差は急速に広がっており、行政にも問題は山積みとなっています。さらに昨年、この街を襲った竜巻により市内の一部では甚大な被害を受け、復興へ向けた取り組みを進めていかなければなりません。また、日本国民としての視点で考えると、私たちは、かつて日本人が有していた精神性を失いつつあるように思えます。人間関係の絆は薄れ、人として、美しく生きるということを忘れてしまったのではないのでしょうか。国難の時代にあっても、政局に明け暮れ決断できない政治への不信、バブル経済崩壊後から「失われた30年」になる可能性すら感じる経済不安、そんな混迷を極める社会情勢の中で発災した東日本大震災、それに伴う福島での原子力発電所事故、私たちはこの先、責任世代として社会への貢献を果たして行かなければなりません。今こそ我々が、英知と勇気と情熱をもって、明るい未来に向けて新たな一歩を踏み出していこうではありませんか。

### 【茨城ブロック大会をつくばで】

2013年度茨城ブロック大会は茨城ブロック会員大会から名称変更され、記念すべき1回目の大会をつくばの地で開催する運びとなりました。1999年以来14年ぶりに茨城ブロック大会を主管し、県内各地から多くの同志をお迎えできることは、大変喜ばしいことであり、メンバー一同「おもてなしの心」を持ってご来場される皆様をお迎えしなくてはなりません。また主管青年会議所として、茨城ブロック協議会の運動が最大限に発信出来るようサポートいたします。さらにブロック大会記念事業では、茨城の特色を生かした「Made in 茨城」を創出する事業をつくばらしく開催することにより、地域住民が茨城で暮らすことにさらに誇りを持ち、郷土愛の醸成へと繋げてまいります。

### 【会員拡大こそ最大のJC運動】

JCへ入会する時の理由として、「友達を増やしたい」、「自分のスキルを高めたい」など様々ですが、これらの目的は全て自分のためです。しかし、JCに入会した後はどうでしょうか。「国や地域のため」、「未来を担う子どもたちのため」、「家族や会社のため」など、目的が自分以外に変わっているはずです。活動すればするほど、修練・奉仕・友情の三信条のもと、明るい豊かな地域の実現に向け、確実に個人が変化し、進化できる団体が青年会議所なのです。また、会員拡大には、青年会議所運動の素晴らしさを伝え、夢や希望を

語り合うことも必要です。メンバーの街づくりに対する姿勢を見ていただき、青年会議所運動を理解していただいた会員が一人でも多く増えることが、私たちが暮らす「つくばの明るい豊かな未来」へと繋がっていくのです。

#### 【街の賑わい創出】

回を重ねるごとに進化し、つくばの夏の大イベントとして、現在では茨城を代表するイベントに発展した「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードは、今年で16回目を迎えます。これまで、多くのメンバーや関係諸団体の皆様が、情熱をもって常に進化させてきたこの事業を更に昇華させ、多くの市民が集える場とし、我故郷の祭りとして誇れるよう新たな工夫を凝らし、積極的に取り組んでまいります。また、環境に配慮する事業として展開を続けてきた「つくば光の森」は、センター地区の活性化を進める事業に発展しました。つくばエクスプレス開通の効果もあり、つくば市内外を問わず多くの方々が来場されます。来場者の方々に、つくばセンター地区の魅力と、地域が一体となっていく環境に配慮する取り組みの大切さを強く発信したいと考えます。さらに、発展的なつくばの冬の風物詩にするため、つくば光の森実行委員会を中心に、他団体との連携も視野に入れた事業活動を模索しなければなりません。また、筑波山周辺地域の観光の促進、健康の増進を図ることを目的とした「ツール・ド・つくば2013（第5回筑波山ヒルクライム大会）」では、「自転車の街つくば」ならではの発信をし、安全で楽しむことのできる大会として、更に周知を図り、CO<sub>2</sub>排出の軽減につながるよう、環境に配慮した自転車利用の啓発も促していきたいと考えます。また、地域に根ざした事業となるよう地域社会との連携を図りながら取り組んでいきます。

#### 【地域に貢献できる人財づくり】

青年会議所は、街づくりを行うための人づくりを行う団体であると考えます。街を形成しているのは我々青年会議所メンバーも含めた市民一人ひとりです。住み良いきれいな街を創るために、リーダーシップを発揮し、地域社会に貢献できる人財を、一人でも多く増やすため、つくば市きれいなまちづくり実行委員会と共に、市民の皆様を巻き込みながら街の美化運動を行っていきます。そして、つくば市は、多くの外国人が滞在する国際都市として発展をしてきました。そんな国際色豊かな都市にある青年会議所として、1999年にはASPAC誘致を総会決議し、2002年には韓国北大田青年会議所との姉妹締結を結び、更に、2010年にはJCI公式事業である「第23回 国際アカデミー」を主管し、世界各国のメンバーと交流を深めて参りました。本年も、青年会議所の同志として、引き続き韓国北大田青年会議所と交流を図り、国際都市つくばを発信する民間外交の一翼を担って参ります。また、地域におけるつくばJCIの役割も忘れてはなりません。近隣友好団体との連携を強化するとともに、その中でもリーダーシップを発揮し、未来を見据えた街づくりに参画していきます。また、地域社会を永続的に発展させるためには、次世代を担う子どもたちが夢と希望に満ち溢れ、地域に感謝し、地域に貢献できる大人へと成長することが重要だと考えます。しかし、「最近の子どもには、夢がない」とよく言われている

ます。また、子どもが将来への夢を描く時は、その時の社会状況に大きく影響されるとも言われています。経済不況の現在、夢が描けない、もしくは安定した将来をただ漠然と思いついてしまうのは仕方ありません。是非、次世代を担う子どもたちには、一時的な社会状況に影響されず、子ども自身の思いから生まれる将来への夢を持って欲しいと願います。また、子どもたちにとってコミュニケーション不足はよい環境ではありません。家族や友人とコミュニケーションを図ることのできる事業を開催し、子どもたちの未来を考えた夢と希望を与える機会を創出していきます。

#### 【円滑な運動展開の支援】

本年も財務運営幹事会議を開催することにより、これまでの公益事業比率を維持しながら円滑な組織運営をしていきます。今年度も引き続き費用対効果、公益性のチェック、会計の適正運用に努め、新法人制度に基づき定款、諸規程の検証をしていきます。また、ホームページ、広報誌、メールマガジン、SNS等、情報発信体系を構築し、地域にJC運動を効率よく広めます。本年は多くのメンバーが卒業されます。共にJC運動に励み、つくばJCの歴史を築いてきた卒業生の皆様に礼を尽くし、盛大に卒業式を開催します。ASPAC誘致を総会決議して以来続く、ASPACジャパンナイトにおいてのブース出展も継続して行い、世界につくばの魅力をも十分に発信します。また、JCI、日本JC、関東地区協議会、茨城ブロック協議会の運動への協力・連携を図るとともに各種大会、諸会議についても参加者の増進に努め、さらに、出向者への支援も最大限に努めてまいります。そして、スムーズで効率の良い諸会議運営を常に心掛け、組織運営の要としての役割を果たします。資料の作成、議案の精査、迅速な情報伝達など、円滑に運動展開ができるよう体制を整えます。

#### 【終わりに】

最後に、去年は創立30周年という節目の年に、社団法人から一般社団法人へと法人格を移行しました。本年は創立40周年へ向け、新たな一歩を踏み出す年です。私たちの目の前には、ありとあらゆる問題が山積みになっております。誰の責任なのでしょう。この社会を構成しているのは、私たち一人ひとりです。つまり、この現代社会の責任の一端は私たちにもあります。政治が、システムが、と叫んでも何の解決にもなりません。常に変動する時代の中、変えていくものと変えてはならないものを見極め、この街のため、次世代の子どもたちのため、そしてその一端を支えるつくばJCのため、次代のリーダーを育むべく、積極的な運動に努めてまいります。私たちはJAYCEEです。私たち一人ひとりが価値ある存在となり、誇れる集団になろうではありませんか。

つくばJCは私たち一人ひとりが創っていくものであり、私たち一人ひとりがつくばJCそのものなのです。